

陸軍省

陸軍省

陸軍省

陸軍省

陸軍省

陸軍省

兵站部 總第一六五號第一

明治三十七年五月四日

大日本

陸軍省 第九九九第一 五月五日

參謀總長 侯爵 大山 巖 殿

陸軍省 陸軍省 陸軍省

兵站部 陸軍省 陸軍省

出征軍隊、日時計、備、相成候に就て  
ハ、陸軍省、通、相成、度、殿上  
司令、方、取、計、相成、度、殿上  
申候也

大日本 陸軍省 第一三三八

参照

大本 營

0325

大本 副臨第九九九 第二

五月五日

參謀總長ヨリ陸海軍大臣ニ案

出征軍隊ニ時間ヲ一定スル爲メ北河ヲ通  
スル東經ヲ二十三度ノ子午線ノ時ヲ以テ滿韓  
地方ノ基準時ト相定メ候間此段及陸通報  
候也

追テ五月二十日ヨリ實施致スヘクニ付申添  
吳也



汪  
宣統三年八月  
日本 營

0326

大本 副臨第九九三

五月五日

参謀總長

第一軍司令部官へ案

駐劄

滿韓地方に於て時間ヲ一定せしめん爲メ日時計及  
同使用法を記し通り送附矣余本署に依り時  
間を規正する

但し其實施期ハ五月二十日ヨリ始ムべし若し日

より實施せしむれば其旨大に違ふハ打電ス

日時計

五(七)(二)個

(旅團以上司令部二個宛  
不足ノ分ハ追テ送附ス)

同使用法

七(一〇)(三)部

大本 營

日時計帳市表

日時

全使用日

|        |   |   |
|--------|---|---|
| 第一軍司令部 | 一 | 二 |
| 師団司令部  | 三 | 三 |
| 第一軍兵隊  | 一 | 二 |
| 第二軍司令部 | 一 | 三 |
| 師団司令部  | 五 | 五 |
| 第二軍兵隊  | 一 | 二 |
| 駐劄司令部  | 二 | 三 |

0328



領報第四十一號



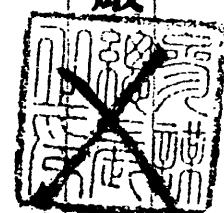
五月五日

大本副臨第九九九號二

明治三十七年五月五日

參謀總長侯爵大山 巖

陸軍大臣寺内正毅殿



出征軍隊ニ時間ヲ一定ナラシムル爲メト壯河ヲ通スル  
東徑百二十三度ノ子午線ノ時ヲ以テ滿韓地方ノ  
基準時ト相定メ候間以段及以通報候也  
追テ五月二十五日より實施致スヘクニ付申添  
候也

大本營

0330

取

軍

大本  
副臨第九九  
號第二

明治三十七年五月五日

參謀總長侯爵大山

海軍大臣男爵山本權兵衛殿

此奉軍部之命、一定に處置する為に上可

市  
貴方へ送るの函に  
之を添へて  
送らるる中



0331

殿テ



0332

大本副臨第九九九號第二

明治三十七年五月五日

參謀總長侯爵大山

陸軍大臣男爵山本權兵衛殿

出征軍隊時間、一定ナル爲ノ壯河ヲ  
通スル東經百二十三度ノ子午線ノ時ヲ以テ  
滿韓地方ノ基準時ト相定メ候間此殿  
及古通報候也

追テ五月二十五日ヲ實施致スヘク申添  
候也

大本營

0332



取

大本  
陸軍  
第九九九  
三

明治三十七年五月五日

參謀總長侯爵大山

第一軍司令官野澤黑木為楨收

滿韓地方に於ける時間、一定ナラシムル為ノ日時計  
及同使用法左記ニ通り送付候条本器に依り  
時間ヲ規正スヘシ

但し其實施期ハ五月二十五日より始ムベシ若シ同日  
より實施シ得サルハ其旨大本營ニ打電スベシ

日時計 五個  
同使用法 七部

(旅團以上ノ司令部ニ一個宛  
不足ノ分ハ進テ送付ス)



大本營

0333

大日本陸軍第九九九號三

明治三十七年五月五日

參謀總長侯爵大山

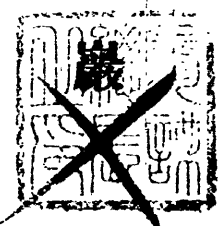
第三軍司令部馬場奥保舉隊

滿韓地方に於ける時間、一定ナラシム爲メ、日時計及同使用法左記之通り送付候条、本器に依り時間ヲ規正スベシ

但シ其實施期ハ五月二十五日より始ムヘシ若シ同日ヨリ實施シ得サルハ其旨大本營ニ打電スヘシ

日時計 七個  
同使用法 拾部

(旅團以上ノ司令部ニ一個宛  
不足ノ分ハ追加送付ス)



大本營

0334

大本 副臨第九九三

明治三十七年五月五日

參謀總長侯爵大山

韓駐劄軍司令官原口兼濟

滿韓地方、新時間一定ナラシム為メ日時計及  
同使用法左記之通り送付原口署ニ依リ時  
間ヲ規正スヘシ

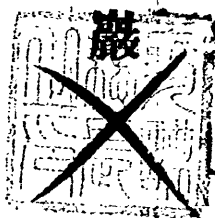
但し其實施期ハ五月二十五日より始ムヘシ  
ヨリ實施シ得サルハ其旨大本營ニ打電スベシ

日時計

二個

回使用法

三部



0335